

事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	都市整備課(維持担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	除雪機械購入事業	事業番号	10193

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	2-9	道路・河川の整備と管理
	施策目標	広域交通ネットワークの形成と社会基盤の充実したまち	

2 事務事業の目的

目的	冬期間の道路の雪対策の充実を図る。
成果	冬期間の安全な交通の確保と生活の生活の利便性の向上が期待される。
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要					
	27	除雪機械購入(ロータリ除雪車1台)					
	28	除雪機械購入(除雪車トラック1台)					
	29						
	30						
	31						

		(単位:千円)	H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
事業費と内訳	事業費		35,424	45,964				81,388
	内訳	国庫支出金		26,092				26,092
		道支出金	14,698					14,698
		地方債	20,000	18,500				38,500
		その他	726					726
		一般財源		1,372				1,372
	人員(人工)		0.25	0.25				
	職員費(人員×8,081千円)		2,020	2,020				
	総事業費		37,444	47,984			81,388	

維持管理	管理主体						
	運営方法						
	維持管理費	施設維持費					
		概算人件費					
合計/年							

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H27)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	除雪機械保有台数	7台	7台	7台
事務事業改善策 (継続事業のみ記入)				

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	除雪機械の更新は、経過年数18年を目途とし計画している。 市民要望には、早く・きれいにとの声が多く、老朽化した除雪機械の更新により作業の迅速化及び効率化が図られるとともに、修繕費等の支出が軽減される。
--------------------------	---

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input checked="" type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 近年の大雪に対して、除雪対策強化の要望が高い。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 今後のきめ細かな除雪の実施と、民間企業の体力を考慮したもの。
ウ. 事業の緊急性	<input type="checkbox"/> 緊急性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 除雪機械の老朽化及び今後の維持・補修費を考慮した。
エ. 手段の適切性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 補助事業を活用して購入するため適切である。
オ. 事業の公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 冬道の雪対策のためであるため公平性は高い。
カ. 事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 冬季の安全な道路確保と生活の利便性から有効性は高い。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【計画どおり実施】 一定程度、更新基準に関する考え方を整理した上で、計画どおりに事業を推進されたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する

事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	都市整備課(都市事業担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	道路附带施設補修事業	事業番号	11670

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	2-9	道路・河川の整備と管理
	施策目標	広域交通ネットワークの形成と社会基盤の充実したまち	

2 事務事業の目的

目的	安全な交通環境を確保する。
成果	道路附带施設の適切な維持補修を行い、道路利用者や周辺住民の安全確保が図られる。
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input checked="" type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	27	カツラムイ街道道路護岸補修工事 L=40.1m 光洋34号線外1排水管整備工事 φ300 リブ付VP管 L=243.3m 建設工事残土捨場通路整備工事 道道部取付道路設置						
	28	カツラムイ街道道路護岸補修工事 L=53.0m 瀬臥牛線防護柵設置工事 ガードレール L=96.0m						
	29	瑯瑤海海岸線法面補修工事 法面ネット張=608m ² 落石防止網設置=156m ²						
	30							
	31							
		(単位:千円)	H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
事業費と内訳	事業費	19,368	12,042	20,520			51,930	
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債						
		その他						
	一般財源	19,368	12,042	20,520			51,930	
	人員(人工)	0.17	0.08	0.08				
職員費(人員×8,081千円)	1,374	646	646					
総事業費	20,742	12,688	21,166			51,930		
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
		合計/年						

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H27)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	道路附帯施設整備済箇所数(全8箇所)	4件	8件	8件

事務事業改善策
(継続事業のみ記入)

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	道路利用者や周辺住民の安全確保。
-------------------	------------------

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 老朽化が進行し危険性が高い状況であったり過去に災害等で被害実績があり、住民からの要望に基づく事業のため。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 道路管理者は、道路法42条により「道路を常時良好な状態に保つように維持し、修繕し、もって一般交通に支障を及ぼさないように努めなければならない」とされているため。
ウ. 事業の緊急性	<input checked="" type="checkbox"/> 緊急性が高い <input type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 老朽化が進行し危険性が高い状況であったり、過去に災害の被害実績がある事などから、応急対策とは別に恒久的な措置を行う必要があるため。
エ. 手段の適切性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 適正な対策工を講ずる以外に手段は無く、専門技術(一般土木工事)を有する業者による施工が必要なため。
オ. 事業の公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 道路利用者及び周辺住民の災害等に対する不安の解消と住環境の整備のため。
カ. 事業の有効性	<input type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 恒久的な対策により、道路利用者や周辺住民の安心安全が守られるため。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【計画どおり実施】 公共施設等総合管理基本方針等を踏まえながら、円滑に事業推進を図るとともに、今後とも定期的にパトロールを行うなど、事故発生防止に努められたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 今後も定期的なパトロールを行い、適切な判断や対応により第三者被害の防止に努める。

作成年度

平成27年度

事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	都市整備課(都市事業担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	舗装新設事業	事業番号	12029

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	2-9	道路・河川の整備と管理
	施策目標	広域交通ネットワークの形成と社会基盤の充実したまち	

2 事務事業の目的

目的	安全で快適な交通環境を確保する。
成果	日常生活に密着した生活道路について、道路改良等を実施し生活の利便性・安全性の向上が図られる。
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input checked="" type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	27	琴平横1号線舗装新設事業 $\Sigma L=266.0m$ (本工事=159.0m)						
	28	横24号甲線舗装新設事業 $\Sigma L=550m$ (測量調査設計委託 $L=550m$) 落石無線線舗装新設事業 $\Sigma L=770m$ (測量調査設計委託=770m、本工事=260m)						
	29	横24号甲線舗装新設事業 $\Sigma L=550m$ (用地確定測量=一式、用地補償等=一式、本工事 $L=150m$) 落石無線線舗装新設事業 $\Sigma L=770m$ (本工事=255m) 西浜町団地13号線舗装新設事業 $\Sigma L=380m$ (測量調査設計委託=380m、本工事=170m) 北方埋立迂回道路舗装新設事業 $\Sigma L=200m$ (測量調査設計委託=200m)						
	30	横24号甲線舗装新設事業 $\Sigma L=550m$ (本工事 $L=250m$)・落石無線線舗装新設事業 $\Sigma L=770m$ (本工事=255m) 西浜町団地13号線舗装新設事業 $\Sigma L=380m$ (本工事=210m) 北方埋立迂回道路舗装新設事業 $\Sigma L=200m$ (本工事=200m) 横27号乙線舗装新設事業 $\Sigma L=300m$ (測試=300m)・望洋団地2号線舗装新設事業 $\Sigma L=350m$ (測試=350m)						
	31	横24号甲線舗装新設事業 $\Sigma L=550m$ (本工事 $L=250m$) 横27号乙線舗装新設事業 $\Sigma L=300m$ (本工事=150m) 望洋団地2号線舗装新設事業 $\Sigma L=350m$ (本工事=150m) 宝林6号線舗装新設事業 $\Sigma L=980m$ (測試=980m、用地買収=7,000m ²)						
事業費と内訳	(単位:千円)							
	事業費	H27	H28	H29	H30	H31	総事業費	
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債	36,200	55,000	122,900	181,000	181,000	576,100
		その他						
		一般財源	315	500	24	1,000	1,000	2,839
	人員(人工)	0.17	0.29	0.29	0.38	0.38		
職員費(人員×8,081千円)	1,374	2,343	2,343	3,071	3,071			
総事業費	37,889	57,843	125,267	185,071	185,071	578,939		
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
	合計/年							

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H27)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	舗装道路総延長	130,565m	132,200m	135,520m

事務事業改善策
(継続事業のみ記入)

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	市民生活の利便性・安全性の向上。
-------------------	------------------

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 交通の利便性や道路利用者の安全性の向上から道路整備の要望が多く、未整備道路において通行障害に対する苦情も多く寄せられているため。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 道路法16条「市町村道の管理」に基づき、道路管理者が新設・改築等を行う必要がある。
ウ. 事業の緊急性	<input type="checkbox"/> 緊急性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 生活道路(その他路線)の舗装整備率は低く、防塵処理を施した路面状況は、凍結融解の影響を受け、冬期における車両の通行に支障をきたしている路線が多いため。
エ. 手段の適切性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 交付金制度など現状で最善な手段を選択し、工法及び施工内容についても、品質管理・施工管理・安全管理など、専門技術(一般土木及び舗装工事)を有する業者による施工が必要なため。
オ. 事業の公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 路線の選定は、道路網・公共施設の密度・交通量・家屋密度・路面状況・雨水排水状況の6項目について評価を行い、過去の整備及び補修経過や地域の緊急な必要性などを総合的に判断して整備路線を決定している。
カ. 事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 生活道路を整備する事によって、生活の利便性及び安全性が向上するため。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【計画どおり実施】 公共施設等総合管理基本方針等を踏まえながら、円滑に事業推進を図られたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 道路評価基準(H24.2.17 HP公表)を基本に緊急性・公共性・生活環境改善などを考慮して、透明性の高い道路整備を目指す。

作成年度 平成27年度

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H27)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	舗装工事進捗状況(延長=1,449m)	980m	1,449m(事業完了)	—

事務事業改善策
(継続事業のみ記入)

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	災害時の避難路確保(防災対策)、安全な通行確保及び生活環境の改善(崖地対策やアスファルト舗装ですれ違いも可能等)の事業効果が得られる。
-------------------	---

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 住民から崖崩れの危険性や津波災害時の高台避難経路確保等に関する要望書が提出されている。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 道路法16条「市町村道の管理」に基づき、道路管理者が新設・改築等を行う必要がある。
ウ. 事業の緊急性	<input checked="" type="checkbox"/> 緊急性が高い <input type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 災害対策や安全対策の考えから、道路整備計画事業の中では最も優先される路線のため。 (参考:要望書提出時に理事者が、緊急性が高く早急な対策を講じるようにとの指示がされた案件)
エ. 手段の適切性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 交付金制度など現状で最善な手段を選択し、工法及び施工内容についても、品質管理・施工管理・安全管理など、専門技術(一般土木及び舗装工事)を有する業者による施工が必要なため。
オ. 事業の公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 路線の選定は、道路網・公共施設の密度・交通量・家屋密度・路面状況・雨水排水状況の6項目について評価を行い、過去の整備及び補修経過や地域の緊急な必要性などを総合的に判断して整備路線を決定しているした。
カ. 事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 崖崩れの危険性回避(道路管理者の責務)や津波災害時の高台避難経路確保(防災対策)等に係るため。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【計画どおり実施】 円滑に事業推進を図られたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する

作成年度 平成27年度

事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	都市整備課(都市事業担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	橋りょう補修事業	事業番号	12478

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	2-9	道路・河川の整備と管理
	施策目標	広域交通ネットワークの形成と社会基盤の充実したまち	

2 事務事業の目的

目的	今後老朽化する道路橋の増大に対応するため、H24に策定した修繕計画に基づき、予防的な修繕等により修繕費用の縮減を図りつつ、道路網の安全性・信頼性を確保する。
成果	老朽化している橋梁の補修工事を行うことにより長寿命化を図り、橋梁の安全性と利便性の向上が期待される。
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input checked="" type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	27	初垂橋補修事業：補修設計委託(一式)、補修工事(A1,A2伸縮装置取替え)						
	28	初垂橋補修事業：補修工事(1径間補修:主桁及び下部工断面修復、P1伸縮装置取替え等)						
	29	初垂橋補修事業：補修工事(2径間補修:主桁及び下部工断面修復、P2伸縮装置取替え等) 落石橋(車・歩)補修事業：補修設計委託(一式)						
	30	初垂橋補修事業：補修工事(3径間補修:主桁及び下部工断面修復等) しんきろう橋・初田牛橋・沢見橋補修事業：補修設計委託(一式)						
	31	落石橋(車・歩)・しんきろう橋補修事業：補修工事(一式) たんちよう橋・フレシマ橋・大竹橋補修事業：補修設計委託(一式)						
事業費と内訳	(単位:千円)		H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
	事業費		29,916	39,000	42,000	27,000	27,000	164,916
	内訳	国庫支出金	18,785	25,350	27,300	17,550	17,550	106,535
		道支出金						
		地方債	10,400	13,600	14,700	9,400	9,400	57,500
		その他						
		一般財源	731	50		50	50	881
	人員(人工)		0.25	0.17	0.17	0.17	0.17	
職員費(人員×8,081千円)		2,020	1,374	1,374	1,374	1,374		
総事業費		31,936	40,374	43,374	28,374	28,374	164,916	
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H27)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	橋りょう補修済箇所数(全28ヶ所)	1ヶ所	5ヶ所	16ヶ所
事務事業改善策 (継続事業のみ記入)				

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	道路利用者の安全性と利便性の向上及び修繕費用の縮減。
-------------------	----------------------------

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 橋梁は道路と同じく人や物資の輸送路として市民生活を支える重要な役割を果たしていることから、橋梁の安全性へのニーズはかなりあると判断した。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 道路管理者は、道路法42条により「道路を常時良好な状態に保つように維持し、修繕し、もって一般交通に支障を及ぼさないように努めなければならない」とされているため。
ウ. 事業の緊急性	<input checked="" type="checkbox"/> 緊急性が高い <input type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 老朽化している橋梁は落橋の恐れもあることから、専門業者による適正な点検調査を行い、早急な補修等の対策を講ずる必要があるため。
エ. 手段の適切性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 調査設計・橋梁補修工事は、専門的知識・専門技術を有する業者による施工が必要であるため。
オ. 事業の公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 道路(橋梁)利用者の安全性を確保する事業のため。
カ. 事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 老朽化した橋梁の毀損による事故を防止し、安心・安全な橋梁環境が道路利用者に提供される。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【計画どおり実施】 公共施設等総合管理基本方針等を踏まえながら、円滑に事業推進を図られたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 公共施設等総合管理基本方針の個別計画(橋梁長寿命化修繕計画:H26～H35 H25.1.16 HP公表)に基づき、合理的・効率的・経済的な事業推進に努める。

作成年度 平成27年度

事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	都市整備課(都市管理担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	都市計画マスタープラン見直し事業	事業番号	12480

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	2-9	道路・河川の整備と管理
	施策目標	広域交通ネットワークの形成と社会基盤の充実したまち	

2 事務事業の目的

目的	社会構造の変化の急速な展開や市民の価値観の多様化に適切に対応した21世紀に目指すべき都市像を構築するため、将来の都市づくりの基本指針たる都市計画マスタープランを中間年次に際して見直し(一部改正)を加える。
成果	目指すべき都市づくりの方針を示すことにより、住民自らのまちづくりへの意識の醸成が高まり、そのことから都市の将来像について考え、まちづくりの方向性の合意形成が促進され、具体の都市計画が円滑に進められる効果が期待できる。
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input checked="" type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要					
	27	都市計画マスタープラン見直し業務委託					
	28						
	29						
	30						
	31						
	(単位:千円)						
事業費と内訳	事業費	H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
	内訳	1,921					1,921
	国庫支出金						
	道支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源	1,921					1,921
	人員(人工)	1.83					1.83
職員費(人員×8,081千円)	14,788					14,788	
総事業費	16,709					16,709	
維持管理	管理主体						
	運営方法						
	維持管理費						
	施設維持費						
概算人件費							
合計/年							

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H27)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	都市計画マスタープラン見直し	100%	—	—
	地域別懇談会開催回数	3回	—	—

事務事業改善策
(継続事業のみ記入)

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	社会構造の変化の急速な展開や市民の価値観の多様化に適切に対応し、新たな視点での将来の在り方や方向性を示す。
-------------------	---

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input checked="" type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 20年に及ぶ計画であることから、人口動態や社会情勢の変化などによる市民ニーズの多様化が挙げられる。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 都市計画法により市町村が定めることと明記されているため。
ウ. 事業の緊急性	<input checked="" type="checkbox"/> 緊急性が高い <input type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 計画期間が20年である現行のマスタープランが10年目を迎えるにあたり、その時間軸の長さから、その間における人口動態や社会情勢の変化などによる市民ニーズの多様化による、将来の計画性の確保を図るため。
エ. 手段の適切性	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 都市計画に精通する業者による業務委託にすることによって、事務の効率性や見直しにおける内容の充実を図るため。
オ. 事業の公平性	<input type="checkbox"/> 公平性は高い <input checked="" type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 地域別懇談会を実施することにより、住民の意見などを反映させたものを作成している。
カ. 事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 将来のまちづくりの構想や方向性を示すことにより、多様化する市民ニーズに適切に対応するため。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【速やかに実施】 H27年度業務につき、策定作業を急がりたい。なお、成果については、概要版のみならず、全体版を市ホームページで公表されたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する

作成年度

平成27年度

事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	都市整備課(都市事業担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	河川敷地環境保全事業	事業番号	12537

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	2-9	道路・河川の整備と管理
	施策目標	広域交通ネットワークの形成と社会基盤の充実したまち	

2 事務事業の目的

目的	普通河川敷地内の環境保全を図る。 (普通河川敷地内の環境悪化対策)
成果	普通河川敷地に隣接する市民が快適に生活できる環境の保全。
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input checked="" type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	27	河川敷地環境整備工事(旧根室別川) L=49.5m W=2.4m						
	28	河川敷地環境整備工事(旧根室別川) L=28.0m W=2.4m						
	29							
	30							
	31							
事業費と内訳	(単位:千円)		H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
	事業費		4,299	3,780				8,079
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債						
		その他						
	一般財源		4,299	3,780				8,079
	人員(人工)		0.04	0.04				
職員費(人員×8,081千円)		323	323					
総事業費		4,622	4,103				8,079	
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H27)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	河川施設整備済箇所数(1箇所)	50%	100%	100%
事務事業改善策 (継続事業のみ記入)				

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	普通河川敷地内の環境保全が図られる。
-------------------	--------------------

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input checked="" type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 市民からの苦情や改善要望があるため。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 根室市普通河川管理条例に基づき、河川管理者が行う必要性がある。
ウ. 事業の緊急性	<input type="checkbox"/> 緊急性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 敷地内の危険性や環境悪化があるため。
エ. 手段の適切性	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 現状の問題点を周辺住民と協議及び調整を行い、安価で恒久的な対策を講じているため。
オ. 事業の公平性	<input type="checkbox"/> 公平性は高い <input checked="" type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 普通河川敷地内の環境悪化対策のため。[公平性に係らず河川管理者(地権者)の責務]
カ. 事業の有効性	<input type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 周辺住民の安全や環境を守るため。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【計画どおり実施】 円滑に事業推進を図られたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する